



開校52年目

七小だより

令和6年度 学校だより1月号

令和7(2025)年1月8日

国立市立国立第七小学校

校長 小畑 行広

「からだところろ すこやかに♪」

校長 小畑 行広

令和7年(2025年)の年が明けました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、それぞれのご家庭において、一年の締めくくりと、新しい年を迎えた新たな気持ちをもってお過ごしになられた方も多いのではないのでしょうか。令和7年の本年も、また、令和6年度の3学期も、本校の子供たちの成長を図るために安全と安心を第一とした学校運営を行ってまいります。どうぞ、本年もよろしくお願いいたします。

さて、昨年(2024)の11月22日(金)に本校で行いました、詩人の谷川俊太郎さんを追悼するための音楽朝会では、急遽NHKの取材が入ることとなり、当日のNHKニュースにおいては、歌っている子供たちの様子や6年生の代表児童のインタビューが3回に渡って放送されました。本校の校歌の作詞者としての谷川俊太郎さんへの感謝の思いと追悼の気持ちを表すことができました。また、作曲家でご子息の谷川賢作さんは、本校校歌の作曲者であり、谷川親子による校歌ということも改めて実感させていただきました。

今回の校歌の録音で感じたことがあります。

「たびして♪」校歌の出だしの音は、子供たちの明るい声でスタートします。歌うには、少し気持ちや息を張る必要があります。そして、校歌と呼ばれるものにはあまり使われないと思われる、「いろんな♪」ところの半音ずつ高くなる進行。

「まなぶ♪～みとめる♪～たすけあう♪」のところは、本校が目指すものを言葉で表現したかのようであり、その言葉を大事にするために、「まなぶ」「みとめる」「たすけあう」が文節ごとに同じ音で、半音ずつだんだん高くなっていきます。

そして、最後のフレーズの「からだところろ♪～すこやかに♪」は、ゆったりと歌えるようになっていて、そこには作詞者の願いが込められているようです。本校の校歌は、谷川俊太郎さんと谷川賢作さん親子の様々な思いや技法がちりばめられていて、まるで合唱曲のような校歌です。他には、なかなか無いような校歌だと思います。

以上の内容は、あくまで、私の考えです。実際には、谷川俊太郎さんや谷川賢作さんにお伺いしなければ分かりませんが、合唱を通して指揮をしてきたものとしての1つの考え方として捉えていただければ幸いです。

本校の校歌は、国立第七小学校が目指す「かしこく やさしく げんきよく」を、校歌として表されたもののように思います。これからも校歌を大切に歌いながら、本校の子供たちが未来を切り拓くことのできる力を育てていきたいと思っています。

お知らせ【1月】

【展覧会】 テーマ「見て見て！きいて！ あそんで ためして 見つけちゃおう」

七小の子供たちが1年間かけてつくった作品が、図工室のすみっこやプールの更衣室、屋上へ上る階段のはじっこなどで、展示される日を今か今かと待っています。どんなふうに表示されるのでしょうか。それは、当日のお楽しみ。子供たちも知りません。

5、6年生にキュレーターさん（展示準備をしてくれるボランティアスタッフ）を募集した時、「ボランティアとは、自主的に行うことですが、やりたい時にやりたいことだけやるものとは違います。心がけとして大事なことは、やると決めたこと、約束したことは守る。気付いたことはどんどん提案する。休み時間、遊べないこともあるかもしれない。などなど…」と、厳しいことを話しました。だから、あまり希望する人はいないかもしれないと思ったのですが、なんと26名も集まりました。昼休みになると、次々に集まり、各々の仕事にとりかかっています。このキュレーターさんたちと一緒に、遊んで試して見付けられるような、楽しい展覧会に仕上げていきます。

書き初めも校内に展示されますので、あわせてお楽しみください。

【短縄週間】

子供たちの体力向上に向けた取組の一つである「短縄 チャレンジ週間」が2月10日（月）から始まります。主に体育の授業や休み時間に、積極的に体を動かしてほしいという願いから、毎年実施しているものです。子供たちには、様々な跳び方に挑戦できるように「チャレンジカード」を1月後半頃に配ります。

保護者の皆様におかれましては、担任からもお知らせしておりますが、短縄のご準備をお願いいたします。縄を片足で踏み、持ち手が腰よりも高い位置にくる長さが最適とされています。長い場合は調整していただくと助かります。ご協力、よろしく申し上げます。

【2年生の6時間授業開始について】

1月21日（火）から2年生も火曜日が6時間授業になります。学校生活のリズムが少し変わりますので、子供が慣れるまでは、ご家庭でも様子を見ていただくと幸いです。

【4年生より】

12月5日（木）に、校外学習に行きました。紙すき体験では、和紙のもとになる楮（こうぞ）や和紙作りの行程を知り、体験を通して大きな喜びや驚きを実感する様子が見られました。届いた和紙を手に取り、とても嬉しそうな子供たちの様子が見られました。さらに、社会で学習した、東京都の発展に尽くした『玉川兄弟』について、羽村取水堰と羽村博物館を見学して学びを深めました。実際の工事に使われた本物の木製の樋を目にし、歓声の声を上げる様子が見られました。江戸時代の工事の始まりから今日に至るまで、長い間変わりなく流れ続ける水のありがたさに感謝する気持ちが生まれていました。子供たちみんなで協力し行動する場面から、大きな成長を実感することができました。この学びを生かし、3学期へとつなげていきます。

【転出入はお早めに】

転出入のご予定がありましたら、早めに学校までご連絡いただきますようお願いいたします。

教育目標について

七小には「かしこく・やさしく・げんきよく」の3つの教育目標があります。これら3つの教育目標を実現するために、1年間様々な取組を設定し、実践していきます。その中でも特に大切にしたい重点目標を立てていますが、これまで3年間に引き続き、来年度も「やさしく」を重点目標としました。

来年度の教育課程の作成に当たり、教育目標に照らし合わせ、工夫した教育活動になるように計画を立てているところです。ここで、七小が大切にしたい3つの教育目標について説明させていただきます。

【やさしく】令和7年度重点目標

「異学年交流の充実」

縦割り班活動などの異学年交流で学級や学年以外の子と関わることを大切にします。年齢の違いや考え方の違い、それぞれの立場によって物事を考えられるようになってほしいと考えています。特に縦割り班活動では、上級生が下級生の目線に立って一緒に遊んだり、声掛けをしたりしている様子が見られ、また、下級生が上級生を慕っている姿も多く見られます。来年度も引き続き、1・6年、2・4年、3・5年のペア学年で交流する機会を設定し、関わりを通した「やさしく」を育てます。

「道徳の授業による児童の心の耕し」

道徳の授業では「親切について」「友達について」などを通して、様々な道徳的な価値を対話的な活動を通して子供たちと考えていきます。これまでの自分を振り返ったり、これからどうしていきたいかを考えたりします。心を耕すことで、「いろいろな人に支えられている。」「友達のためにこれから頑張りたい。」など、自分を見つめる時間になっています。道徳の授業がより充実した時間になるよう、引き続き教員自らが主体的に学び、授業改善を行っていきます。また、道徳授業地区公開講座を通して、保護者の皆様に学級での取組をご覧いただきます。児童の心を耕し、「やさしさ」や「思いやり」を育てます。

その他にも構成的グループエンカウンター（人間関係を育成する活動）や地域・保護者の方と連携し、教育活動の充実を図ることで「やさしく」の実現を目指していきます。

「やさしく」を育てるために「げんきよく」「かしこく」の充実が欠かせません

【げんきよく】

例年実施されている体力テストの結果を基に、児童が苦手としている項目であるソフトボール投げや反復横跳びなどについて教員が実態を把握し、それらを改善できるように体育の授業等で工夫した実践しています。さらに代表委員会と連携し、体育館を開放するなどして、意図的に休み時間などにも積極的に体を動かせるようにします。

また、毎月様々な事案を想定した「避難訓練」を行っています。教員が主導することもあれば、休み時間に大人がいないときにはどうしたらよいかなど、児童自身が「自分の身を守る」ことを考えて行動できるような取組をしています。

運動能力を高めることを通して、自己肯定感の向上が期待できます。また、「自分の身を守る＝自分を大切にすること」につながります。自己肯定感が高まったり、自分を大切にできたりすると、友達にも優しい気持ちで関われるようになっていきます。この「元気よく」の取組も児童の「やさしく」の育成の一役を担っています。

【かしこく】

学習では、各教科とも基礎基本が身に付くことで、自分で考えたり他の課題に応用したりすることができます。七小では、学習の基礎基本の定着を改めて大切にしたい学習指導を行います。言語の正しい読み書き、基本的な計算の反復練習、また、児童が45分間の授業で何を学ぶのか、見通しがもてるよう「めあて」がはっきりと分かる授業展開をどの学級でも大切にすることを通して、学習意欲を高めていきます。

「できるようになりたい」と多くの児童は思っていますが学習の進捗状況はお子さんの実態によって変わります。「できなかったことができるようになった。」「努力したら、漢字が書けるようになった。」といった成長が自信につながると考えます。こうした成功体験を学習で積み重ねていくことでも自己肯定感の高まりを期待できます。「かしこく」を高めていくことも児童の「やさしく」を育てるきっかけにしていきます。

1月			学校行事 ○：学年 <：くるみ学級	授業時数						給食
日	曜	時程		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
1	水		元日							
2	木									
3	水									
4	土									
5	日									
6	月									
7	火		冬季休業日終							
8	水	特	午前授業 始業式	4	4	4	4	4	4	/
9	木	特	午前授業 発育測定	4	4	4	4	4	4	/
10	金		安全指導 給食始 午前授業※校内研修のため3-1のみ5時間授業	4	4	4	4	4	4	○
11	土									
12	日									
13	月		成人の日							
14	火		ステップタイム 委員会活動 避難訓練	5	5	5	5	6	6	○
15	水	特	きこえとことば指導始	5	5	5	5	5	5	○
16	木	特	はばたき指導始 校外学習⑤	5	5	6	6	6	6	○
17	金		元気アップタイム	5	5	5	6	6	6	○
18	土									
19	日									
20	月		全校朝会 校外学習④	5	5	5	5	5	5	○
21	火		ステップタイム 6時間授業始② クラブ設立説明会⑤	5	6	6	6	6	6	○
22	水	特	縦割り班活動	5	5	5	5	5	5	○
23	木	特	5時間授業 幼保小連携①※文化幼稚園との交流	5	5	5	5	5	5	○
24	金		児童集会 午前授業 命の教育⑤	4	4	4	4	4	4	○
25	土									
26	日									
27	月		全校朝会 クラブ活動 校内書き初め展始(～2/1)	5	5	5	6	6	6	○
28	火		ステップタイム 原爆・戦争体験伝承者講話⑥	5	6	6	6	6	6	○
29	水	特		5	5	5	5	5	5	○
30	木	特	展覧会1日目 書き初め展保護者鑑賞(～2/1)	5	5	6	6	6	6	○
31	金	特	安全指導 展覧会2日目 ※展覧会期間中のため特別時程	5	5	5	6	6	6	○
2/1	土	特	展覧会3日目	4	4	4	4	4	4	/